



2008年度に向けて

代官山ステキな街づくり協議会 理事長 鳥居 正一

2007年度は わがまちルール の策定、登録、実施、セミナー、シンポジウムを開催いたしました。又、全国都市再生基金に応募、基金が確保できれば景観調査・成果物作成を計画致しておりましたが、非選定のため開発予定エリアの基礎調査のみを行いました。2008年度の活動は、これらの継続と新たな課題に向けて取り組んで参ります。

1. わがまちルールの普及

“代官山ルール”として、8月23日付けで登録認可されました。登録にあたってはメディアにも取り上げられ多くのみなさまに注目されております。本年度は昨年以上に多くの開発等が予想されており、これら事業者にて代官山地域の特性を理解頂き、良好な環境維持にむけ具体的に対応頂くために“代官山ルール”が極めて重要で、より実効性のあるルール運用に向けて運用会議を推し進めて参ります。

2. 代スキマップ2発行について

2005年作成した代スキマップは好評でほぼ完売、再販を多くの方から要望頂いております。これを受け代スキマップ2として発行することを目指します。特に、ここ1、2年で多くの開発により変貌する代官山地域の記憶を留め、歴史的な背景をさらに掘り下げたマップを作成致したいと考えております。

3. 防災面からのまちづくり活動

2007年度に行われたシンポジウム“代官山地域の防災を考える”は震災時における代官山地域の取組の必要性を強く投げかけた物でした。ステキなまちを目指す代スキ会にとっても重要なテーマであり、在住、在勤、来訪者を含めた新たな仕組みの構築が不可欠です。震災の備えを新たなまちづくり活動のテーマとして加え取り組みたいと考えます。今年もまちにとって重要な課題に取り組んで参りますので、みなさまのご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

わがまちルールの報告

「代官山ルール」がわがまちルールとして渋谷区より認可された一週間後に、パシフィックマンション跡地の「(仮称)代官山プロジェクト」の建設計画が発表されました。この一号の案件に関し、代官山運営委員会では、事業者に対して計画に関する事前協議及び検討事項に関する提案、近隣説明会の延期を促しましたが、延期は受け入れられず9月20日に実施されました。運営委員会は事業者に対して、この計画が代官山に相応しいものとなるための要望を伝えるとともに、この計画に関する具体的・詳細な資料の提供を要望、受領した資料の範囲で運用委員の東氏により周辺建物を含めた関係を把握できる三次元CGを作成いただきました。このCGは10月13、14日「代官山プロジェクト」計画に関する井戸端会議で建物概要説明資料と併せて見ていただき、

意見交換を行いました。(ここ迄の経緯は代スキ会NEWS17号で報告)

9月25日、事業関係者(興和不動産、三井不動産、日本設計、大林組)を含めた最初の運用委員会を開催しました。その席でこの計画に対する事業者の考え方及び計画建物について説明を求め協議しましたが、結果は相互に意見を述べるに止まりました。

10月13、14日井戸端会議の意見を含めて、(仮称)代官山プロジェクト計画に関する要望書を纏め、代官山ステキなまちづくり協議会理事長名で11月10日、興和不動産株式会社取締役社長、三井不動産株式会社代表取締役社長宛提出しました。

11月22日に要望書への回答書を受け取り、この回答書をベースに1月23日に運用会議を開き、前回までの経緯の確

認と協議の継続を確認しましたが、協議中にも係わらず12月25日確認申請が出されたことに委員は不信を表明しました。

2月6日事業関係者と協議継続。事業者の開発コンセプトの説明をうけ、各論では地域の要望に対して具体的な対応の提出を求めました。

2月27日事業関係者と継続協議。計画内容、工事協定書の締結、町内会等について協議。具体的な対応案はでないまま、確認は下りたと報告がありました。

この間、運用委員会では終始、事業者にたいして、「代官山ルール」の趣旨を理解し、代官山地域に相応しいプロジェクトに育て上げることを要望し、渋谷区とも調整を図りました。しかし、工事は着々と進行しています。運用委員会は近隣住民及び関係者への計画変更説明会を早急に開くことを要望する予定です。